

年報の発行にあたって

学長 齋藤 秀 晃



新潟県立看護短期大学は平成6年（1994年）4月1日に開学いたしました。本学は、新潟県民の保健・医療を担う中堅看護者を養成するとともに、この方面の学問の水準の高揚に貢献することを目的としております。

開学1年を振り返りますと、様々なことが走馬灯のように想起されますが、開学までの準備に2～3年を要して、献身的努力を惜しまなかった県知事を始めとする県職員の方々に、先ずはお礼を申し上げる次第です。

本学の教職員は開学2年目で定員に達しましたが、1年目は関東方面から教授・助教授としておいでいただいた教員が多く、全くの寄り合い世帯の中から出発いたしました。4月には数回の教授会を開き、

学則の制定から種々の規程を作成する仕事をこなし、入学式や開学記念式典などを催しました。建造物から備品、教材、図書などはすべて新品ばかりに加えて、教員・職員も学生もオール新生でありました。本学の歩みは今まさに始まったのであります。このような時代をこの年報は記録しており、将来、10年後、20年後になりますと、この年報は恐らく古典的なものになっているでしょうが、私どもの開学時の情熱を汲んで、若干の試行錯誤はお許しいただきたく存じます。

本学のある上越市は人口13万人余りの城下町であり、四季の移り変わりの美しい所であります。海、山、川、花、星、雪、…大自然に囲まれた真只中であって、学生たちとともに一歩、一歩、着実に、教育にそして研究にいそしんでゆけるものと念じております。

最後に、本年報を通読いただき、本学へのご希望、ご助言を何なりとお寄せいただければ幸いです。以上申し上げてご挨拶といたします。

平成7年9月